

工業蒲田

東京 都 田 区 蒲 田 1 丁 目 2 番 8 号
 電 話 (3732) 7 8 1 (代)
 蒲 田 工 業 協 同 組 合 会
 機 関 編 集 及 編 行 所
 刷 行 所
 東 京 都 大 田 区 矢 口 3 丁 目 4 番 17 号

新春放談あれこれ

司会者 明けましておめでとう
 ございます。

新年に当たりまして、皆さんか
 ら今年の抱負ですとか意気込みを
 お聞きしたいと思います。

これは去年発生したのではなく
 て、前々からの問題が一旦に浮上
 したわけです。

政、財、官、学、とくに教授、
 それから弁護士がとんでもないこ
 とをやりましたね。

このままでいくと本当に日本は
 ダメになってしまうという事件が
 発生していますが、これは根っか
 らあったものが表面に出たとい
 うことではなからうかと思ひます。

権威が失墜するという時代の変
 遷の中で、今後、我々の組合は、
 組合の運営にどう対処すべ
 きか、一考を要するときはない
 かと思ひます。

古い新春放談会の話調を調べて

みましても、価値観の問題、設備
 投資の問題、景気がいいの悪いの
 と言っている時代もあります。

今日もまた、全く同じですが、
 放談会です。忌憚のないこと
 を、お話しただきたいと思ひ
 ます。

A さん、いかがですか。
 A 理想郷、それはどこにもな
 いということなんです。

それから、人間というのはいつ
 も悪いことをする、いいこともす
 る、悪いことをする、いいこともす
 る、悪いことをする、いいこともす
 る、悪いことをする、いいこともす

これは人間の性なんです。
 キリスト教があつて、お釈迦様
 があるのはそれなんです。
 余りにも理想郷で、水清ければ
 魚すます、現在確かによくない
 です。

それをどういふふうによつてい
 うかということ、長い長い辛抱
 をして直していくしかないんじや
 ないかと思ひます。

では、不倒企業というのは何だ
 ろうか、それはやっぱり歴史なん
 です。
 ですから、私の夢になるかもし
 れませんが、この一年は不倒企業
 をよく勉強してみたいと思ひます。
 例え不倒企業が絶対を守つて
 いることは何だろうか。

それは、うそをついたり言つた
 ことに責任を持たないようなこと
 は決してしません。
 必ず言つたことに責任を持つて
 います。
 ことはいろいろな面からそうい
 うことを勉強していきたいと思ひ
 ます。

C 私、去年、これがなご底か
 と自分なりにようやく確認でき
 ました。
 うちは、初代から七十年続いて
 いますから、
 こつこつやるのみだということ
 で、今まで、随分走つてきました
 が、しよせん先代が築いたレール
 の上を一生懸命走つていてとい
 うことで、次の世代に就いてとい
 うに、バブルがはじけて不透明な時
 代になつてもやはり健全な歩みを
 しているんです。

ただ付加価値がどんどん下がつ
 てきています。

D 去年、やっと黒字に浮上し
 ましたので、これもこの組合で
 ウハウウを教えてもらったおかげ
 と思ひます。
 組合の意義は、なかなか経営コ
 ンサルタントでは教えてくれない
 ことを話してもらえ。
 そのいいところは取り入れて、
 自分の企業を変えていき、良いと
 ころは残し生き残りをかけ不倒企
 業になるための研鑽の場であると
 ころに組合の良さがあると思ひ
 ます。

E 私は十一月に社長になりま
 したが、序列を変えないでやろ
 うということで、会長の父の方が偉
 い、命令権も全部会長を第一番に
 ということで納得してもらつて、
 社員にも宣言しました。
 そうしませんが、突然落ち込み
 ますので、
 会社も五十年を迎え、図らずも
 過去の最高の売り上げになつて
 います。

F 昨年は、非常に協同組合に
 は迷惑をかけた一年だと思
 ひます。
 ただ協同組合の存立の意義とい
 うことを考えたときに、中小企業
 の駆け込み寺的な存在を有してな
 ければならない、という考えを持
 つてきています。

G 私どもも昭和四十七年から
 全員参加の経営みたいな形をや
 っています。

不倒企業と経営者の夢

私は、去年の大河ドラマのすね。その歴史のある企業は不
 倒企業だとよく言われていたんで
 が、秀吉は結局、夢を持って、夢
 を追いかけて、夢を追い越したわけ
 です。
 私の夢みたいなことになるかも
 しれません、Aさんがよく言わ
 れた歴史のある企業、例えば虎屋
 さん、

このような状況の中でも組合員
 の一部の人達からは赤字から黒字
 に変わったと云う話も耳には聞くこ
 とができましたことは誠に喜ばし
 いです。



年頭ご挨拶
 蒲田工業協同組合
 理事長 西ヶ谷 勝美

く存じております。しかし一般的に
 には、良い事が少なかったように
 思います。

九六年における組合の現状は所
 属企業の倒産に伴い手形割引、自
 動車割賦販売につきまして被害を
 受ける組合員の皆様に迷惑をおか
 してしまいましたことを深くお詫び
 申しあげます。これに伴い契約書
 の不備な点も改善させていただき
 上げ、特別減税廃止、公共投資の

減少、時短によるコスト高騰等マ
 イナス効果が働き、かなり多難な
 年となるものと予測されます。こ
 のような厳しい経済情勢のなかで
 当組合が、どのような活動をし、
 組合員から何を求められているの
 か考えさせられる時が来ているよ
 うに思われます。例えば、組合活
 動のなかの業務を見直し、再構築
 することを積極的に行う必要があ
 るかも知れません。
 しかしそれには組織のレベルアッ
 プを図り、新しい体制の組織を作
 る必要があります。そのためには
 ます役員と組合員との間のコミュ

ニケーションを活発にし、組合員
 との距離が遠くならないように心
 掛けてゆきたいと思ひます。また
 組合の発展のために役員の方にも
 英断をもつて組合のあるべき方向
 を忠告していただき厳しい環境の
 中においても人の和をもつて組合
 運営にあたっては困難の道も
 開くことができると思ひます。
 最後に皆様のご期待に応えるこ
 とのできる協同組合作りに専念
 いたす所存でございますので今後と
 もご指導・鞭撻のほどお願い申し
 上げ年頭のご挨拶といたします。

今年心境です。

目次

- ① 「年頭ご挨拶」
- ② 「新春放談あれこれ」
- ③ 「組合員だより」
- ④ 「業務報告」
- ⑤ 「年賀広告」
- ⑥

その全員参加の経営の一つとして借金をゼロにしたいということと土地を売って、それは実現したんですが、結局別の形で借金ができました。

五十六年から私が社長をやっていますが、全員参加でやっても成績があがって初めて社長としての信頼が生ずるわけです。

ただ、ここで考えられるのは、バブル以降は我慢ということで夢を持たない。じつ我慢という形でやってきたんですが、今年はやめていかなければいけないというところで、若返り策とどうう夢が持てるかというのを考えています。

中小企業とPR

司会者 今までの治世から乱世の世の中になって、今までどおりの価値観でやってよいものだろうかと思っていますが、要は意識を変えなければダメなんです。今までの延長線上で頑張ろうと云うてはダメです。

若さを食いつぶしての利益からここで脱却していかなくてはならないと思っています。

若返り策と社員教育が今年の大きな課題となっています。

E それから、中堅幹部の社員を会社の志向する方向にいかにつ張り込むかというのは、非常に重要なことであると同時に大変なエネルギーを要し、難しいことだと思えます。

それ故、組織をフラットにしてみんな役職をとりました。

司会者 話をもとに戻します。明るく、夢を持つ、その夢を何を基準にして具現していくのか、どうでしょうか。

E 日本には大企業というのがありますが、そこにいる人たちが中小企業のおかきで成り立っていることがよくわかっていないんです。

E 社員も、お客さんが来ればみんなが少し意識が変わるし、それにきれいにいえます。

D 今年の夢は、今三代目として、会社を継承することが宿命と思ってやってきましたが、最近、親算の話に出ました。ティチャーとしての師を持つというところで、私なりに師を求めたという結果、志を持つということを教わりました。

E 私自身、お客さんが来れば底を底を見たとはいえませんが、底を見ながら、このところ東京の、蒲田とか、この限界をすく感じ、二十年あまり幾らやっても、社員が高齢化して今ネットワークの話があります。集積度はすく落ちていきます。大田区を看板にして仕事がない時代に入ってきたと少し感じています。

C 私なりに考えていますのは、大田区のネットワークを引きついていることは否定しています。ある部分は切り落し、あるものは持つていっていますから、それが向こうの地元の業者にはない。それが評価されているという部分もあると思うんです。

それを売り物にしていきたいと、気がついてみますと、多品種少量生産に対しての姿勢が仕事に結びついていました。

G 私は、従業員がこういう設備が欲しい、ああいう設備が欲しいと言つと、それをどんどん買つていこうと思つたところから仕事に結びついて実利がありました。不況のときに設備投資をして、バブルに入ってからはやめていきました。

司会者 Eさん、おたくは産学分野というのは全部わかりました。当然関東が日本で一番のハイテクゾーンです。

大阪とか、福岡とか地方に行つたらみんな情熱的には陸の孤島みたいなので、幾ら情報が発達していても、実際に物をつくる現場と先生の接点がないところはだめですね。

大学の先生どうもおつき合いです。(次頁へ)

新春講演会 新春賀詞交歓会

蒲田工業協同組合
同 木 鶏 会

明けましておめでとつございませう。皆様方には、ご健勝にて平成九年の新春をお迎えになられたこと心からお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご高配ご支援を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。本年も何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

さて、恒例の新春講演会並びに新春賀詞交歓会を左記の通り開催いたします。

日時 平成九年一月八日(水)
午後四時～五時三十分
場所 ア・ペア
テーマ 「本年の景況と企業経営」
副題 今年やらねばならぬことは
講師 経済評論家・国際エ
コノミスト長谷川慶太郎氏
新春賀詞交歓会

これからは中小企業がどういう方向に進んでいくかということは今、Eさんが言われたような、絶えず新しい方向を探すべきなのではないか。

それに挑戦して、消極的ではだめなんです。

積極的に挑戦していかないと、乱世の波は超えることができないと思つてます。

E 日本には大企業というのがありますが、そこにいる人たちが中小企業のおかきで成り立っていることがよくわかっていないんです。

E 社員も、お客さんが来ればみんなが少し意識が変わるし、それにきれいにいえます。

D 今年の夢は、今三代目として、会社を継承することが宿命と思ってやってきましたが、最近、親算の話に出ました。ティチャーとしての師を持つというところで、私なりに師を求めたという結果、志を持つということを教わりました。

E 私自身、お客さんが来れば底を底を見たとはいえませんが、底を見ながら、このところ東京の、蒲田とか、この限界をすく感じ、二十年あまり幾らやっても、社員が高齢化して今ネットワークの話があります。集積度はすく落ちていきます。大田区を看板にして仕事がない時代に入ってきたと少し感じています。

C 私なりに考えていますのは、大田区のネットワークを引きついていることは否定しています。ある部分は切り落し、あるものは持つていっていますから、それが向こうの地元の業者にはない。それが評価されているという部分もあると思うんです。

それを売り物にしていきたいと、気がついてみますと、多品種少量生産に対しての姿勢が仕事に結びついていました。

G 私は、従業員がこういう設備が欲しい、ああいう設備が欲しいと言つと、それをどんどん買つていこうと思つたところから仕事に結びついて実利がありました。不況のときに設備投資をして、バブルに入ってからはやめていきました。

術があるなど確認を一回させると、今度はこっちが行つたときも、向こうが低姿勢になるんです。

来いと言われて行くと、相手は見下して見る。

私がお客さんに悪くても一回まづ来てくれと云います。

こうしないと中小企業はいつもばかにされちゃいますね。

司会者 今までは建前が物事が通つてきましたけれども、こういう時代、どうも建前では通らない、もう本音でやらないと。

要は連れてきて見させなければだめだよというのが本音でしょう。

E 社員も、お客さんが来ればみんなが少し意識が変わるし、それにきれいにいえます。

D 今年の夢は、今三代目として、会社を継承することが宿命と思ってやってきましたが、最近、親算の話に出ました。ティチャーとしての師を持つというところで、私なりに師を求めたという結果、志を持つということを教わりました。

E 私自身、お客さんが来れば底を底を見たとはいえませんが、底を見ながら、このところ東京の、蒲田とか、この限界をすく感じ、二十年あまり幾らやっても、社員が高齢化して今ネットワークの話があります。集積度はすく落ちていきます。大田区を看板にして仕事がない時代に入ってきたと少し感じています。

C 私なりに考えていますのは、大田区のネットワークを引きついていることは否定しています。ある部分は切り落し、あるものは持つていっていますから、それが向こうの地元の業者にはない。それが評価されているという部分もあると思うんです。

それを売り物にしていきたいと、気がついてみますと、多品種少量生産に対しての姿勢が仕事に結びついていました。

G 私は、従業員がこういう設備が欲しい、ああいう設備が欲しいと言つと、それをどんどん買つていこうと思つたところから仕事に結びついて実利がありました。不況のときに設備投資をして、バブルに入ってからはやめていきました。

司会者 高く売れるということですが、今まで蒲田でやっていたことを移すには相当勉強して物づくりを変えているわけでしょう。

司会者 Eさん、おたくは産学分野というのは全部わかりました。当然関東が日本で一番のハイテクゾーンです。

大阪とか、福岡とか地方に行つたらみんな情熱的には陸の孤島みたいなので、幾ら情報が発達していても、実際に物をつくる現場と先生の接点がないところはだめですね。

大学の先生どうもおつき合いです。(次頁へ)

出 席 者
(五十音順・略敬称)
石 森 憲 蔵
株式会社 東電舎
市 川 宗 紘
日本中空鋼株式会社
海 老 名 延 郎
エビナ電化工業株式会社
大 谷 文 雄
株式会社 大谷造機所
小 林 章 彦
株式会社 日章機械
杉 谷 順 弘
杉谷金属工業株式会社
長 坂 基 秀
長坂精機株式会社
西 谷 勝 美
株式会社東京精密器具製作所
増 田 道 造
岡田板金株式会社
岡 野 弘
事務局

産学協同



司会者 高く売れるということですが、今まで蒲田でやっていたことを移すには相当勉強して物づくりを変えているわけでしょう。

司会者 Eさん、おたくは産学分野というのは全部わかりました。当然関東が日本で一番のハイテクゾーンです。

大阪とか、福岡とか地方に行つたらみんな情熱的には陸の孤島みたいなので、幾ら情報が発達していても、実際に物をつくる現場と先生の接点がないところはだめですね。

大学の先生どうもおつき合いです。(次頁へ)

出 席 者
(五十音順・略敬称)
石 森 憲 蔵
株式会社 東電舎
市 川 宗 紘
日本中空鋼株式会社
海 老 名 延 郎
エビナ電化工業株式会社
大 谷 文 雄
株式会社 大谷造機所
小 林 章 彦
株式会社 日章機械
杉 谷 順 弘
杉谷金属工業株式会社
長 坂 基 秀
長坂精機株式会社
西 谷 勝 美
株式会社東京精密器具製作所
増 田 道 造
岡田板金株式会社
岡 野 弘
事務局

産学協同

(前頁より) 絶えず最先端の情報を入手する。そうすると、同業者のレベルがいつもわかります。先生から毎朝のようにお電話もいただいております。世界でトップレベルの技術の情報を先生からもらいながら、試しています。

先生たちもよく会社に来てくれますので、そんなに優秀な会社ではありませんが、先生から卒業する学生はどうかと言ってもらえます。

会社員の一割以上は技術者です。司会者 Fさん、借金ゼロへの実現はどんな考え方で。

F 極端なことを言いますと、習性として我々が育った環境は右肩上がりの時代を過ごしてきたわけです。

さつとまたか言われたように、なべ底じゃないけれども、うちの企業の最低限度はどこでいいか。これを原点において、粗利益率を少なくとも二七％ぐらいにはいってほしいですね。

販売管理費は大体一七％、営業利益としては一〇％、一応金利を三％差し引いて、七％ぐらいの利益。この計算で、潜在利用というものとではじめて、今まで二七％の粗利益を出せなくて三〇％ぐらいでした。

ある程度内部でもってリストラしていくほかありません。現実的にこの数字でいけば、五年かけると大体何とかいけるかなと。

これがいけなかったら、やめてしまいます。うちの品物は、お客さんに怒られますが、お客さんが必要じゃないと言われたときには、もうやめ

るほかないわけです。けれども、うちの品物は、極端なことを言ったらうちしかつくっていませんから、競争相手は一つもないわけです。

司会者 ちょっとこの題から外れますが、今月の「日経ビジネス」が「タイム・ベンツ」がものすごいことをやりましたね。

労働時間の問題ですが、金曜日と月曜日に従業員が休むと手当てが出て結構な金額になる。

やはりトップが何を考えて、どういうことをやったかということなんです。

皆さんから夢の実現に対して話していただきましたが、自分に対して師匠を持たなければだめ。

古い話ですけども、我々には帝王学を教わりました。

自分を支える何か価値観のしっかりしたものを持たなければならぬのではないのでしょうか。

社長以上には会社は良くならないとよく云われますが、自分の会社をどうするのかこの辺のところをよく考えて行かねばならないと思います。

Fさんが云われたように自分がやらねばならないんじゃないかと、伊藤肇さんから古い話ですけど、今日にも通じる新しい問題のお話もありましたが、この辺のお話がきちんと理解されていないんじゃないか。こんなふうに思うんです。

A 人の問題ですね。松下幸之助がよく云っていました。

素直な心になれ、素直になれど、なかなか素直になれないのです。

他人のため汗を流す

司会者 景気が悪いのは、全部自分が主体なんです。やはり物事を考える思考の枠組みというのをきっちり持って、そこからパラダイムをこちら側にシフトする。治世から乱世へシフトしないよりは生き残ったってしょうがないんですから。「生きぬく」ことです。

この前、木鶏会でも、Eさんの言ったことですが、「他人のため汗を流し、時間を費やすことは人間関係に最も大切な信頼を生み出し、交流の幅を広げていくことになる。」

こう言われているんです。これが最高の価値観だと私は思っています。

E 人脈を広げよと思ったり、どれぐらい相手に自分の時間を提供できるか、汗を流せるか、余りみんな、やっていいですね。

B 要するに一人一人が自分の会社の行動方向、方針がどうだとか、自分の経営に対する考え方はどうだとか、一般論に対しても、そういうものをもう一度考え直さなければいけない時期に現在来ている。

ところが、残念ながら良識が欠けちゃったんですね。

え直さなければいけない。Eさんの言っておられることが良識なんです。

司会者 Hさんご多用のところ駆けつけていただき有難うございます。今年の抱負なり、意気込みをちょっと。

H 今、「気がつく人、気がつかない人」という本が出ています。その中には、仕事のできる人というのはいくらも出ています。相手の立場になって仕事をしなければいけない。

自分勝手な人たちはこれからだめだと、いろんな例を出して話しています。

また、挨拶のできない従業員は思い切ってこれからは要らないんだというようにしていかないと、会社自体が変わらないのではないかと思っています。

昔からよく原理原則、基本を守らなくてはならないということの延長線上で夢を具現していく。運を開いていく。

運というのは自分を磨かなければだめだ。

自分の徳の高さを磨いていかなければならぬんじゃないかというところで締めていただきました。

やはり基本に戻って、物事の原理原則、何が必要か、どういう考え方でいかなければいけないのか。時代が変わったという認識だけではないか。

基本に戻るといって、ある意味では同じようなことかもしれませんが、その次に夢を具現するにはどうするか。

どうやってこの夢を具現するか悪いと言っても、それは世の中が変わっているんですから。

この思考の枠組みを考えていかなければなりません。



治世から乱世に入って、景気が悪いと言っても、それは世の中が変わっているんですから。この思考の枠組みを考えていかなければなりません。パラダイムをシフトしていかなければ、生き抜いていけないという結論になろうかと思えます。どうも長時間、ありがとうございました。(預手)

代表者 変更 有限会社須藤製作所 (天田区東六郷二一七五) 旧代表者 須藤豊 新代表者 須藤敏男 本社並びに工場移転 株式会社榎田製作所(代表者 榎田幸司氏)の本社事務所が下記に移転しました。

移転先 福島県双葉郡楡葉町大字山田岡字仲丸一〇七 株式会社東京スピンル製作所(代表者堀井裕司氏)の本社が左記に移転しました。 移転先 横浜市金沢区福浦一ノ四 一十二

自動車ローン グループ保険 のお申込は 組合へ

業務報告

八月一日 機関紙「工業蒲田」発行

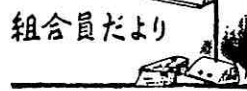
主な記事 ゾウの時間ネズミの時間 東京工業大学教授 本川達雄氏 揭示板 シルバー人材センターが仕事のお手伝いをします。 グループ保険のおすすめ。 技術指導講習会のご案内。 業務報告。

組合員有志中見舞連名広告 八月一日 理事会

1. シンドー工業㈱に関する経過報告並びに仮差押え手続きについて。

2. 副理事長選任について。

3. 金銭消費貸借契約書(自動車組合ローン) 様式変更について。(次頁へ)



(前頁より)
て報告、全員これを了承。
4、駐車場土地売却方申込みについて報告、全員これを了承。
八月五日、九日 技術指導講習会「やさしい図面の見方」
八月二十七日、三十日 技術指導講習会「NC機械(施整)入門講座」
九月四日 正副会長会議(木鶏会)
九月四日 定例経営サロン(木鶏会) 講演会
テーマ「最近の倒産、廃業の際、立った傾向について」
副題「こうゆう会社は危ない」
講師 (株)帝国データバンク 第一課長井上氏、安倍氏。
九月十日 青年部経営サロン(木鶏会) 主な話題

売上高が減少した場合、これに如何に対処すべきか。
①経営合理化による経費の削減。
②営業方針転換で受注高の増加。
③付加価値の高い受注品追求。
④雇用形態変化に臨機応変に対応する。
⑤「目」資金中心の資金運用に努力する。
九月二十七日 理事会
十月二日 定例経営サロン(木鶏会) 講演会
テーマ 東京都における廃棄物の処理状況とこれに関するリサイクルの状況および今後の方針
(中小企業の参入余地の是非を含めて)
講師 東京都蒲田清掃事務所長 田島康雄氏、清掃局蒲田作業係長、大滝登氏。
十月九日 青年部経営サロン(木鶏会) 主な話題
会員各位のスケジュール管理
①年間スケジュールを作成し、必要に応じて修正。
②午前八時出勤・午前中社内勤務・午後社外勤務で行動し、必要に応じて変更。
十一月六日 常任理事会

1、放談会について。
2、永年勤続優良従業員表彰について。
3、新春講演会並に賀詞交歓会について。
左記の通り決定
日時平成九年一月八日(水)午後四時新春講演会、午後五時四十分より新春賀詞交歓会場所リア・ベア
講演会テーマ「本年の景況と企業経営」 副題「今年やねばならぬこと」
講師 経済評論家・国際エコノミスト 長谷川慶太郎氏。
4、年末年始休日について。
(十二月二十八日・一月四日)職員年末手当について。
5、九期末試算表報告について。
6、別紙試算表について報告、全員これを了承。

7、業務報告。
十一月六日 定例経営サロン(木鶏会) 主な話題
会の活性化を図るためにはどうしたらよいか、又、会の在り方・未来へどう志向すべきか。
①この数回講師の先生をお呼びし、木鶏会を開催。
②青年部では、各回テーマを設けて意見交換を行っている。
③本音で話し、困った事でも相談できるムード作り。
④先輩であろうが後輩であろうが、忌憚のない意見を出せる雰囲気作りが大切。
⑤目標は、全員が木鶏会でありたいと努力してゆきたい。
十一月十二日 青年部経営サロン(木鶏会) 主な話題
親会の会合に若い方も積極的に参加し、自己研鑽するように。
①親会とは年令差が大きい。
②議題によっては親会に興味があるが、高度なので無理。
青年部の在り方、どう志向すべきか、また何を求めているのか。
①思い切り意見を交換し、自分の意見を積極的に出す。
②具体的な話、身近な話が多く参考になる。
③次の時代の経営者として、人と接し人脈を作り、一生懸命勉強している。
④この会で他の業種の方々と接触し、見聞を広めたい。
十一月十五日、十六日 筑波研究学園都市施設見学並に筑波山麓の散策(木鶏会) 見学先 (株)つくば研究支援センター

農業研究センター
農薬生物資源研究所
機械技術研究所
建築研究所
十二月二十三日 永年勤続優良従業員表彰式(於太田区民プラザ)
被表彰者は左記の通りです。
五年以上勤続優良従業員(社名五十音順 敬称略)
川島守(株式会社清川製作所)、堀タカ子(水森電機株式会社)、安西正樹(株式会社音響製作所)、佐藤武・宮尾好春(有限会社本庄鉄工所)
以上四社五名
十年以上勤続優良従業員(社名五十音順、敬称略)
川崎則雄(株式会社音響製作所)、及川秀雄・国分英三(有限会社本庄鉄工所)
以上二社三名

年末・年始休日のお知らせ
年末・年始の組合事務局の休日は左記の通りとさせていただきます。
記
年末は、十二月二十八日(土)年始は一月四日(土)の間

十二月二十五日 放談会・懇親会(於ときわ)
十二月三日 青年部忘年会(木鶏会・於ア・ベア)
十二月四日 忘年会(木鶏会・於山王俱樂部)
以上



永年勤続従業員表彰式



つくば研究学園都市見学時筑波山頂にて



木鶏会忘年会



木鶏会青年部忘年会

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

蒲田工業協同組合員有志

(五十音順)

機械器具製造業

尼寺空圧工業株式会社

代表取締役 尼寺 実

株式会社 極東精機製作所

代表取締役 鈴木 福男

株式会社 弘 機 商 会

代表取締役 坪根 五久代

坂口精密工業株式会社

代表取締役 坂口 俊夫

株式会社 タンケンシーラセーコウ

代表取締役 永井 彌太郎

ティヴィバルブ株式会社

代表取締役 竹内 栄多

株式会社 東京精密器具製作所

代表取締役 西ヶ谷 静司

東 亜 株 式 会 社

代表取締役 小柳 隆

長坂精機株式会社

代表取締役 長坂 基秀

株式会社 中谷機械製作所

代表取締役 中谷 和彦

日本チエンギヤー無段変速機株式会社

代表取締役 加藤 進弘

有限会社 富士精機製作所

代表取締役 荻野 幸男

株式会社 藤原製作所

代表取締役 藤原 徳一

株式会社 文 化 精 工

代表取締役 桑原 久直

電気機械器具製造業

出雲電機株式会社

代表取締役 雲野 和信

太産工業株式会社

取締役社長 千葉 博

株式会社 東 電 舎

取締役社長 石森 憲蔵

株式会社 中山電機工藝社

代表取締役 中山 致

永森電機株式会社

取締役社長 永森 忠夫

株式会社 日 産 電 機

代表取締役 中村 國男

株式会社 マコメ研究所

取締役社長 植村 三良

輸送用機械器具製造業

江崎工業株式会社

取締役社長 江崎 武

荏原工業株式会社

取締役社長 長井 俊樹

株式会社 大谷造機所

取締役社長 大谷 文雄

謹 賀 新 年

蒲田工業協同組合

(五十音順)

顧問 千葉 博

相談役 石森 憲蔵

理事長 西ヶ谷 勝美

専務理事 市川 宗紘

常任理事 増田 道造

會計担当 赤井 弘志

常任理事 大谷 文雄

常任理事 小林 章彦

常任理事 杉谷 順弘

理事 新井 陽一

理事 岩崎 登喜雄

理事 加藤 進弘

理事 川瀬 純一

理事 工藤 勝広

理事 竹内 栄多

理事 鳥海 保男

理事 長井 俊樹

理事 長坂 基秀

理事 西野 三郎

理事 野口 三郎

理事 豊間 広

監事 中山 致厚

監事 岡野 致厚

事務局長 岡野 致厚

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

蒲田工業協同組合員有志

(五十音順)

(前頁より)

輸送用機械器具製造業

株式会社清川製作所
代表取締役 川瀬純一

第一金属工業株式会社
代表取締役 菅谷和四郎

株式会社東京スピンドル製作所
代表取締役 堀井脩市

株式会社鳥海製作所
代表取締役 鳥海保男

日本中空鋼株式会社
代表取締役 市川宗紘

株式会社蛭田電機製作所
代表取締役 蛭田政行

株式会社ユタカ製作所
代表取締役 石田啓介

金属製品製造業

佐々木発條株式会社
代表取締役 佐々木典子

同和発條株式会社
取締役社長 川島慎治

株式会社羽田パイプ製造所
取締役社長 野口広

有限会社早崎製作所
代表取締役 早崎吉春

株式会社松原製作所
代表取締役 松原一喜

株式会社御園精工所
代表取締役 高橋進

プレス・鍍金・製罐業

株式会社赤井製作所
代表取締役 赤井弘志

株式会社新井久四郎鉄工所
代表取締役 新井陽一

株式会社内田製作所
代表取締役 内田正勝

株式会社内原製作所
専務取締役 内原康雄

株式会社榎田製作所
代表取締役 榎田幸司

岡田鍍金株式会社
代表取締役 増田道造

協和鍍金株式会社
代表取締役 服部和央

大和部品株式会社
代表取締役 今井敏夫

メッキ業

アルマイト業

エビナ電化工業株式会社
代表取締役会長 海老名平吉

株式会社三協アルマイト
代表取締役 岩崎登喜雄

鋳物・鍛造業

有限会社京浜铸造所
代表取締役 神道晃

杉谷金属工業株式会社
取締役社長 杉谷順弘

その他

岩佐工機株式会社
代表取締役 岩佐勇

株式会社 KAWAHARA
代表取締役 河野啓中

株式会社気球製作所
代表取締役 豊間厚

合資会社ニシノ
代表社員 西野三郎

株式会社日章機械
代表取締役社長 小林章彦

三津浜工業株式会社
代表取締役 木々津栄一